

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 1203001

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A	
単位施策	4 図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	読書促進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	5 保健福祉課 8 保育所	
事業指標	貸出冊数の増及び図書館ボランティアの養成	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	町民一人あたり(年)貸出冊数10冊及び図書館ボランティアの養成・確保	関係例規・法令名		
住民参加	2	関係個別計画名		
住民協働				

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	○読書活動の充実 ・図書購入 ・ブックスタート事業	図書購入(2,600冊) 絵本購入 ボランティア養成(5名)	図書購入(2,800冊) 書架購入 絵本購入 ボランティア養成(7名)	図書購入(3,416冊) 絵本購入 ボランティア養成(8名)	図書購入(3,833冊) 絵本購入 ボランティア養成(9名)	図書購入(4,250冊) 絵本購入 ボランティア養成(10名)	
	事業費(千円)	20,600	2,650	3,650	4,150	5,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	20,600	2,650	3,650	4,150	5,000		
事業費(千円)	20,595	2,650	3,650	4,148	4,998	5,149	
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	20,595	2,650	3,650	4,148	4,998	5,149	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等) 図書購入(1,904冊) 寄贈図書(210冊) 絵本購入(40セット) ボランティア養成 大人4名, 児童3名  ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 図書購入(1,995冊) 寄贈図書(547冊) 絵本購入(478冊) ボランティア養成 大人4名 書架購入 2台 ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入(2,729冊) 寄贈図書(253冊) 絵本購入(556冊) ボランティア養成 大人4名 ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入(2,925冊) 寄贈図書(78冊) 絵本購入(368冊) ボランティア養成 大人4名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 図書購入(3,298冊) 寄贈図書(88冊) 絵本購入(422冊) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	【評価・実績】						
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	図書購入(2,600冊)、ボ5名	図書購入(2,800冊)、ボ7名	図書購入(3,416冊)、ボ8名	図書購入(3,833冊)、ボ9名	図書購入(4,250冊)、ボ10名
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%
	全体達成率	13%	31%	51%	75%	100%	

事業名 読書促進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
	評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	澤田 朋朗

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書購入冊数4,250冊、町民一人あたり貸出冊数10冊								
【抱える課題やニーズは】	図書の計画的整備による図書館サービスの向上に努めているが、施設上の課題等の要因もあり、図書館の魅力を十分に引き出すことができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民のニーズに応じた図書の整備及び蔵書構成により、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図る。	① 図書購入冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>4,250冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3,720冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>87.5%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	4,250冊	実績値	3,720冊	達成度	87.5%
目標年度	平成24年度										
目標値	4,250冊										
実績値	3,720冊										
達成度	87.5%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	読書活動の推進や図書館サービスの向上を図ることにより、町民誰もが心地よい居場所として利用することができ、暮らしに役立つ優しい地域の情報拠点となり得る。	② 一人あたり貸出冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10.0冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5.9冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>59.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	10.0冊	実績値	5.9冊	達成度	59.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	10.0冊										
実績値	5.9冊										
達成度	59.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①図書購入冊数	3,720冊(前年度比 427冊増)									
	②年間貸出冊数	年間貸出冊数 28,593冊(前年度比 1,616冊増)、一人あたり年間貸出冊数 5.9冊(前年度比 0.2冊増)									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の情報拠点として位置づけられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、人づくり、ひいてはまちづくり
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	に寄与し、町民の生涯学習の推進、地域の活性化のため必要である。
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	図書購入冊数及び一人あたりの貸出冊数については目標の達成に至っていないものの、町民ニーズに応じた図書の整備及び蔵書構成が図られたことから、生涯学習の推進のため有効な事業である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	図書購入にあたっては、選書過程における町民ニーズへの対応や購入冊数等について精査の上行っており、町民ニーズを満たすために必要なコストであり、効率的に執行している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民誰もが心地よい居場所として利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っており、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
図書購入冊数及び一人あたりの貸出冊数については目標の達成に至っていないものの、町民ニーズに応じた図書の整備・蔵書構成により、図書館サービスの向上に努めているとともに、ブックスタート事業の定着及び読み聞かせボランティアの積極的な活動等、読書活動の推進が図られており、ほぼ計画どおりの事業を展開することができた。	同左	

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持	継続/現状維持	
目標である5万冊の蔵書整備を計画的に進めるとともに、開閉架図書の整理や発注から配架に至る期間の短縮等により、施設上の課題はあるものの、町民ニーズに対応した図書館サービスのさらなる向上を図る。	同左	